



學 穂

(ほかく)

令和7年度 広州日本人学校

学校だより No.6

令和7年9月5日

発行責任者 校長 大久 耕

～ 2025年 広州日本人学校は 開校 30周年です ～

広州日本人学校 開校 30周年記念式典・講演会開催



8月30日(土)、在広州総領事館 総領事 貴島善子様、広州日本商工会 会長 古川健太郎様はじめ、多くの来賓の方をお迎えして、「広州日本人学校 開校 30周年記念式典」を挙行了いたしました。

午前中の授業参観の折にもご覧いただいたかと思いますが、当日は、児童生徒、教職員、来賓全員が、生徒の発案とデザインによるTシャツを着て、式典に臨みました。

児童生徒を代表して、生徒会長Hさんが、学校があることへの感謝とこれからの決意を述べました。また、大和本校理事長、貴島総領事様、古川商工会長様からは、子供たちに温かい励ましの言葉が送られました。子供たちにとって、学校や自分の未来・将来を考えるととても良い機会となりました。

〈記念講演・演奏会〉～本校校歌制作者 ミュージシャン YAMATO 氏～



後半の記念講演では、本校校歌制作者のシンガー・ソングライターYAMATO(山登 靖)氏を迎えて、記念講演会(歌とお話)を実施しました。YAMATO氏は、かつて広州留学中に、本校の前身「広州補習授業校」で講師を務め、在任中に現在の校歌を作曲しました。

校歌作成にまつわるお話や夢を追ってミュージシャンとなったこと、音楽に込められている強い平和を願う気持ちなど、子供たちのこれからのために内容が盛りだくさんでした。

また、ピアニストの山田メイさん、バイオリニストの諏訪有香さんともに、「心に翼を広げて」と題し、9曲を披露してくださいました。最後にYAMATOさんとともに歌った校歌は、本校の歴史を感じさせるものであると同時に、未来へとつながる歌声でした。子供たちの歌声に、YAMATO氏も校歌が愛され、歌い継がれていることを感じられていました。

〈中庭披露〉～子供たちのアイデアを生かして～

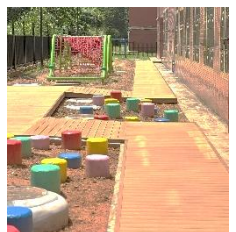


夏休み明け初日、登校してきた子供たちは、すっかり様変わりした中庭に目がくぎ付け。さらに東側の敷地にも、何やら遊具があることを発見し、興奮した様子。「いつから遊べるの?」、「かわいい!」、「楽しそう」など、子供たちの反応は、期待にあふれていました。

この日、中庭がいよいよお披露目となりました。ブランコを中心とし

て、みんなが仲良くなれる場所を作ってほしいという提案をして、採用された小学部4年生のIさんと、5年生のSさんが代表してテープカットを行いました。遊具のほかにも、部活動等にも使える約100mの走行トラック、暑い時期でも活動ができるようにミストも備えています。たくさん体を動かして、元気にたくましく成長してほしいと思います。

今回の中庭及び東側敷地の工事においては、設計から施工まで藤田（中国）建設様到大変お世話になりました。みんなが集える場所として、大切に使用していきたいと思っています。ありがとうございました。



〈開校 30 周年記念式典〉 ～校長式辞 要旨～

本校は、多くの日本企業、保護者、そして子供たちの願いが結実し、1995年4月、中国国内三番目の日本人学校として誕生いたしました。

当時の資料からは、開校までに何度も要望書を書き、交渉を重ねてきたことを窺い知ることができます。その過程は、大切な子供たちが学ぶ場所を作るために、汗を流し、柱を立て、一本一本くぎを打ち、屋根や壁を張る作業をしてきたと言っても過言ではないでしょう。

まずは、開校三十周年に当たり、関係された皆様に、心から感謝と敬意を表します。

今、ここにみんなが集まれる場所が、学べる学校があることは、決して当たり前のことではありません。この学校は、日本から離れて外国に暮らす皆さんの毎日が、少しでも楽しくなるように、小さな喜びが訪れるように、すばらしい友と出会えるようにという願いを込めて、たくさんの大人の人が、そしてもっとたくさんのこの学校で学んだ先輩たちが、長い間、守り、愛し、創り上げてきた場所です。

まずは、これまで学校に関わってきた多くの人たちへの感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

そしてもう一つ、今、在校する皆さんには、大切な使命があります。

この先、ここで暮らす日本の子供たち、皆さんの後輩たちのために、世界で一番すてきな学校を創り、受け継いでいくことです。広州に住むすべての日本人の宝物として、育ててほしいと思っています。

そのために、一人一人が、自分にできることを考え、行動していきましょう。友達同士、お互いを認め合い、大切にしてください。そして、先ほどもお話ししたように、周りの人への感謝の気持ちを持ち続けましょう。

そうすれば、広州の空のもとに学んだ日々が、いつまでも輝き、あふれ、永遠に喜びが鳴り響くような世界で一番すてきな母校・広州日本人学校になるはず。これからも、今日ここに全員で、力と心を合わせていきましょう。

本日、来校いただいたご来賓の皆様、日本国政府、広州日本商工会、広東省及び広州市教育局等、関係各所からのこれまでの御厚情に深く感謝申し上げますとともに、今後とも本校へのご支援、並びにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

広州日本人学校 校長 大久 耕

